

函館工業高等専門学校	開講年度	平成30年度(2018年度)	授業科目	英語特講B
科目基礎情報				
科目番号	0393	科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	生産システム工学科	対象学年	4	
開設期	後期	週時間数	1	
教科書/教材	1駅1題 新TOEIC TEST文法特急(朝日出版), TOEIC L & R TEST出る単特急 金のフレーズ(朝日出版)			
担当教員	山下 純一			

到達目標

1. 英語の基礎的な語彙、慣用句2600語以上を理解し運用できる。
2. 毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。
3. TOEIC500点レベル(英検2級程度)の語彙や高等学校学習要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	TOEICテストの600点レベル400語の80%以上を理解することができます。	TOEICテストの600点レベル400語の70%以上理解することができます。	TOEICテストの600点レベル400語の60%以上を理解することができない。
評価項目2, 3	TOEICテストリスニングで160点以上取ることができる力を身につける。	TOEICテストリスニングで140点以上取ことができる力を身につける。	TOEICテストリスニングで120点以上取ことができる力を身につけることができない。

学科の到達目標項目との関係

函館高専教育目標 E

教育方法等

概要	英語特講Bでは、多様なテーマの英文を題材として演習形式で読解力の向上を図るとともに、国際的なコミュニケーションを行うために必要な基礎的な英語理解力および表現力を養う。特にTOEICテストのリスニング練習を毎時行うほか、各種英語検定に対応できる語彙能力(英検2級、TOEIC500点レベル)を身につける。
授業の進め方・方法	本講義の内容は、TOEIC試験に向けた①英単語、熟語の修得、②英文法問題演習が中心となる。国際社会で活躍する技術者として必要な英語の基礎的コミュニケーション力を身につけることを目的とし、TOEIC500点レベルを目指す。そのため、この授業が開始される前に、これまで習った英語の語彙・文法を復習した上で受講する必要がある。授業は、学習到達目標達成のために、TOEICの文法・語彙問題演を中心にe-learning等で行う。
注意点	授業中の居眠り、授業に関係ない行動(PCやモバイル機器の指示以外の操作、漫画読み、内職など)は減点の対象とする。また、課題や提出物の未提出、提出遅れも減点対象となる。最低限、教科書の語彙問題は事前に予習して授業に臨むこと。 JABEE教育到達目標評価：定期試験80%（E-4）、小テスト20%（E-4）

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	授業の説明 TOEICテストの説明	授業の進め方が理解できる。 TOEICテストの概要が理解できる。
		2週	★初級編 まずは550点(絶対おさえるべき23題一切符は持っていますか?)	初級編の文法事項を理解できる。
		3週	★初級編 まずは550点(絶対おさえるべき23題一切符は持っていますか?)	初級編の文法事項を理解できる。
		4週	小テスト	TOEIC600レベルの語彙を理解することができる。
		5週	★中級編 しっかり730点(苦手分野を克服する14題ー自身を持って走ろう!)	中級編の文法事項を理解できる。
		6週	★中級編 しっかり730点(苦手分野を克服する14題ー自身を持って走ろう!)	中級編の文法事項を理解できる。
		7週	小テスト	TOEIC600レベルの語彙を理解することができる。
		8週	中間試験	
後期	4thQ	9週	答案返却・解答解説	間違った問題の正答を求めることができる。
		10週	★意外な落とし穴を回避する20題ー道程を見直してみよう(ほか)	これまでの文法事項、及び、新しい文法事項を理解できる。
		11週	小テスト	TOEIC600レベルの語彙を理解することができる。
		12週	★上級編 目指せ!900点超え(ここで差がつく15題ー急勾配を上りきれ!)	上級編の文法事項を理解できる。
		13週	★最高峰を目指す15題ー極上の景色を観に行こう!)	上級編の文法事項を理解できる。
		14週	小テスト	TOEIC600レベルの語彙を理解することができる。
		15週	学年末試験	
		16週	答案返却・解答解説	間違った問題の正答を求めることができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ
総合評価割合	60	30	10	0	0
基礎的能力	60	30	10	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0